

水沢自治会では、地域の活性化に向けた話し合いを通じて、市の無形民俗文化財に指定されている「水沢盆踊り太鼓」と「水沢盆踊り」を未来に繋いでいく若者の育成のため、地域住民が協力して太鼓や踊りの練習を行い、浴衣や提灯なども揃えました。

盆踊りには小学生から里帰りの方などたくさんの方が参加しました。叩き手は、踊りながら太鼓の縁をたたく独特な奏法で太鼓を響かせ、踊り手はその響きに合せて優雅な踊りを披露しました。地域資源を活用し、伝統文化を未来につなぐ取り組みが地域コミュニティの活力再生に繋がっています。



水沢盆踊り太鼓の様子

取組内容

今年度は、4つの自治会が集落支援員活動事業と市の補助制度を活用して活性化に向けた取り組みを行っています。今回は八幡平にある「水沢自治会」の活動内容をご紹介します。

水沢自治会の取り組み



市民共動課 共動推進班
☎ 30-0202

集落支援員活動事業

集落支援員は、自治会の現状を把握するための「状況調査」を行い、調査結果を基に自治会の現状や課題、将来の自治会像などについての「話し合い」と「活性化活動」への取り組みを支援します。小規模な自治会（50世帯未満）を中心に支援しています。活用を検討される自治会は、お気軽にお問い合わせください。



国際交流員ダンコー・アンドレアさんの「HAJRAKANUNO!」

「アリとキリギリス」文化の違い

日本に来る前は自分の行動が遅いと思わなかったけれど、日本に1年半ほど住んでいて、ほぼ毎日のように、なんとなくそのように感じてしまいます。周りにいる皆さんの行動が非常に速いように見えます。目的地まで歩くスピード、買い物のかた、イベント後の片付け、食事の時間さえもとても速く感じます。アパートから出て、お化けみたくに一瞬で消える近所の人々、仕事をしている皆さんの姿を見てもゆっくりに動く人がなかなかいないみたいです。たまに、このスピードを見るだけで疲れます。

週末なのに、遅くまで寝ていてもいいのに、朝早くに除雪車の音から始まって、誰かしらがどこかへ急いで行く音が聞こえます。勤勉に、アリのように頑張っているように見えます。「頑張る」がポイントです。勉強、仕事、スポーツなどのすべてを頑張ります。日本で、「ごゆっくりどうぞ」と何度も聞いたことがあります。き



ハンガリーでは「明日もあるさ」という考え方が多くいます。今日中に全部終わらなくても明日になればすっきりして、今日の続きを考え直すことができるからです。この場合、私はキリギリスになるのでしょうか。それとも、ただの日本とハンガリーの文化、または「時間の速さ」の違いを感じるのでしょうか。

フェイスブック公開中。「鹿角 CIR ダンコー・アンドレア」で検索してください。

世界遺産登録に向けて

大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

大湯環状列石では、実物の環状列石を当時のままの姿で見られることが大きな魅力となっています。これまで多くの人々が次世代に伝えなければならぬという強い思いを持って、遺跡を守り続けてきました。



「先住民中通遺跡」の石碑 昭和12年に設置。当時は野中堂環状列石の近くにありました。

世界遺産

大湯環状列石 世界遺産登録に向けた取り組み

大湯環状列石の保存と活用

大湯環状列石が発見された昭和6年当時は、まだ遺跡や文化財を保護するための制度がありませんでした。そこで地元の人々や郷土史家らが「大湯郷土研究会」を立ち上げ、遺跡の保護活動や研究を進めたことにより、大規模な遺跡の破壊や遺物の散逸を免れ、昭和31年の国の特別史跡指定に至っています。

指定後は県や市による調査が進められ、平成10年から平成27年にかけては市による保存や活用のための環境整備事業が行われ、現在の史跡環境が整備されています。

現在、世界遺産登録の実現を目指していますが、登録がゴールではありません。登録後には、「世界遺産」の名誉とともに、「顕著な普遍的価値」のある遺産を人類共通の宝として将来にわたり保護し、その価値を伝えていく責任があります。

そのためには、登録に向けた活動を契機に地元の文化遺産の価値を見つめ直し、地域に対する自信や誇りを醸成していくことが大切です。そして訪れる多くの人々に、遺跡の価値を伝えながら、地域の文化や歴史、自然についての理解を深めていくことで、地域全体の活性化へつなげていきたいと考えています。



法の広場

法テラス鹿角 ☎ 0503383-1416



伊東 憲二 弁護士 Kenji Ito

法テラス鹿角
所在地 花輪字下花輪50番地 福祉保健センター内(2F)
電話番号 0503383-1416
相談受付時間 9時～17時30分
※要予約

よろしくお願ひします

本年1月より法テラス鹿角法律事務所に赴任しました。弁護士の伊東憲二と申します。生まれも育ちも東京です。

大学卒業後、一般企業に就職し、その後弁理士の資格を取得して東京の特許事務所に勤務しました。そして、10年以上の受験期間を経て司法試験に合格し、どこに就職しようかと考えました。そんな時ふと考えたのが、弁護士がたたくさんいるところで働くよりも、本当に弁護士を必要とするところで働きたいということでした。これからは法テラスの常勤弁護士として、本当に援助が必要な方に適切な法的支援が行き届くよう努力したいと思っています。



尾崎 剛史 弁護士

ありがとうございました

平成29年1月に法テラス鹿角法律事務所へ赴任して早や3年。2月中旬に鹿角を離れ、浜松市に転勤することになりました。振り返るといろいろなことがありましたが、中でも市の福祉総務課や社会福祉協議会の皆さんと一緒に事案に取り組めたことが大きなやりがいだったでしょうか。これからも外から鹿角の発展のために力になりたいと思っています。鹿角の皆さんのご健勝をお祈りして、離任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。